



# カメムシ発生注意!!

雑草地における斑点米カメムシ類の発生は「多」と予想されます。

うまい・きれい かほく米づくり運動では10の技術の実践を推進しています。確実に実践しましょう。

推進技術	目標	チェック
1~7	1. 播種量（うす播きの励行） 2. 育苗日数（健苗の育成） 3. 植付本数（細植の励行） 4. 栽植密度（優良茎の確保） 5. 適正な施肥（栄養凋落防止と登熟向上） 6. 田植え時期（早植えの防止） 7. 中干し・溝切り（遅発分けつの抑制）	
8	<b>除草・防除</b> (畦畔等除草とカメムシ防除の徹底)	・ 7月上旬までの追加除草 ・ 水稻の生育ステージにあわせた適期防除の実施
9	<b>水管理</b> (飽水管理の徹底)	・ 中干し後から出穂までの約1か月（コシヒカリ）の飽水管理 ・ 出穂から刈取り直前までの1か月以上の飽水管理
10	<b>刈取時期</b> (適期刈取りの励行)	・ 籾の黄化程度に応じた刈取り

## 今月のポイント① カメムシ対策：畦畔や農道の除草と仕上げ防除の徹底

### 【斑点米の原因となるカメムシ類】

実際にこのようなカメムシが発生しています。

オオトゲシラホシカメムシ	ホソハリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ
アカスジカスミカメ	クモヘリカメムシ	ミナミアオカメムシ

### 【カメムシ防除の鉄則は、①に『除草』、②に『適期防除』】

～①まずは、畦畔・農道の除草を～

畦畔や農道などの水田周辺の雑草地は、斑点米カメムシ類の生息地であり、繁殖地です。  
畦畔・農道の除草を7月上旬までに行い、カメムシ類の発生源をなくしましょう。

～②次に、出穂後の適期防除を～

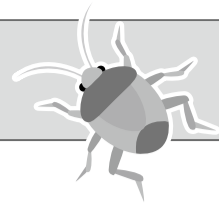
本田カメムシ防除は、水稻の出穂7～10日後と14～17日後の薬剤防除を徹底してください。

カメムシによる斑点米で等級落ちが確認されています!!

斑点米の防止は除草と防除の合わせ技!

# 今月のポイント② 基幹防除を徹底し斑点米を追放しましょう！

営農の手引き47～48ページも参照ください。



## 〈粉剤体系〉

月	7月												8月																																																		
日曜日	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18																				
早生							1回目 ビームトレモンセレン 粉剤DL 3～4kg/10a 出穂3～1日前			出穂期									2回目 ビームスタークル 粉剤5DL 3～4kg/10a 出穂7～10日後									3回目 ダントツ 粉剤DL 3～4kg/10a 出穂14～17日後																																			
中生	①イナゴ対策												②稲こうじ対策												③紋枯病対策																		1回目 ビームトレモンセレン 粉剤DL 3～4kg/10a 出穂3～1日前									2回目 ビームスタークル 粉剤5DL 3～4kg/10a 出穂7～10日後									3回目 ダントツ 粉剤DL 3～4kg/10a 出穂14～17日後		
晩生	①イナゴ対策												②稲こうじ対策												③紋枯病対策																		1回目 ビームトレモンセレン 粉剤DL 3～4kg/10a 出穂3～1日前									2回目 ビームスタークル 粉剤5DL 3～4kg/10a 出穂7～10日後											

- ①イナゴ対策：『トレボン粉剤DL』を10アール当たり3kg散布する（散布時期 6月中旬～7月中旬）
- ②稲こうじ病対策：『Zボルドー粉剤DL』を10アール当たり4kg散布する（近年発生しているほ場、散布時期 出穂14日～10日前）
- ③紋枯病対策：『モンセレン粉剤DL』を10アール当たり3～4kg散布する（多発しているほ場、散布時期 7月上旬）

## 〈粉剤〉

- 1回目：ビームトレモンセレン粉剤DL：いもち病、紋枯病、カメムシ類、ウンカ類、イネツトムシ等（散布後22日以上経過しないと収穫できません）
- 2回目：ビームスタークル粉剤5DL：いもち病、カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイ、イナゴ等（散布後8日以上経過しないと収穫できません）
- 3回目：ダントツ粉剤：カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイ、イナゴ等（散布後8日以上経過しないと収穫できません）

## 〈粒剤体系〉

月	7月												8月																														
日曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
早生	イモチエース キラップ粒剤 3kg/10a 出穂14～10日前												出穂期			キラップ粒剤 3kg/10a 出穂直後 ※イモチエースキラップ粒剤を散布した場合は不要																											
中生													イモチエース キラップ粒剤 3kg/10a 出穂14～10日前												出穂期			キラップ粒剤 3kg/10a 出穂直後 ※イモチエースキラップ粒剤を散布した場合は不要															
晩生																			イモチエース キラップ粒剤 3kg/10a 出穂14～10日前												出穂期			キラップ粒剤 3kg/10a 出穂直後 ※イモチエースキラップ粒剤を散布した場合は不要									

## 〈粒剤〉

- イモチエースキラップ粒剤：いもち病、紋枯病、カメムシ類等（散布後36日以上経過しないと収穫できません）
- キラップ粒剤：ウンカ類、カメムシ類（散布後15日以上経過しないと収穫できません）  
⇒粒剤は湛水状態で散布し、3～4日湛水状態を保ってください。

農薬は使用基準を守り、市街地では農薬が飛散しないよう注意してください！

乳白粒防止対策は3～4日おきの通水！ 日中の湛水はしない！

## 今月のポイント③ 出穂後の水管理で乳白粒や胴割粒の発生を防止しましょう！

営農の手引き49ページも参照ください。

- 3～4日おきの通水（田面が常に湿っている状態）で根の活力を維持しましょう。
- 通水はできるだけ夕方に行い、翌朝速やかに落水しましょう。刈取り前5日頃までの継続を！
- 日中の常時湛水は厳禁です！⇒根が傷んでしまい、乳白粒や胴割粒の発生を助長することになります。
- フェーン現象の時は要注意です。天気予報を確認し、フェーン現象の予報が出された場合は湛水して備えましょう。

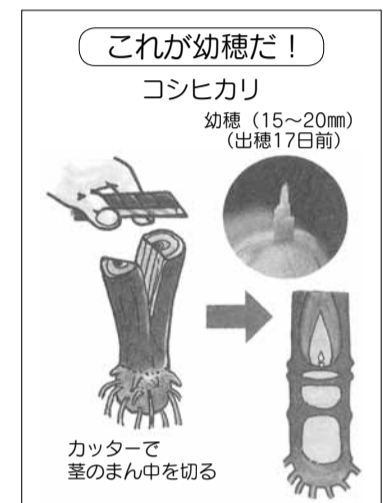
## 今月のポイント④ コシヒカリの穂肥

営農の手引き46ページも参照ください。

### コシヒカリの生育状況（管内生育観測田2か所平均、6月24日調査）

草丈 (cm)			茎数 (本/m <sup>2</sup> )			葉数		
本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
50.6	44.2	51.8	581	415	495	10.0	10.1	10.2

- 草丈：前年より長く、平年並み
- 茎数：前年・平年より多い
- 葉数：前年・平年並み



- 必要な茎数は確保されています。
- コシヒカリの出穂予想は、平坦部で7月29日頃、山間部で7月31日頃が見込まれますが、今後の気温が高く推移すると、早まる可能性があります。

①BBコシー発くんを施用したほ場では、穂肥の必要はありません。  
⇒基肥一発肥料は時期が訪れると穂肥の成分が溶け出し、葉色が濃くなります。

②分施肥体系コシヒカリの穂肥 ⇒穂肥の1回目は幼穂長15～20ミリを確認して施用してください。

	裸地のはっきり見えるほ場（葉色 3.5）		裸地の見えにくいほ場（葉色 3.5～4.0）	
	1回目 BB有機入り いしかわライト550 13kg/10a	2回目 BB有機入り いしかわライト550 13kg/10a	1回目 BB有機入り いしかわライト550 7kg/10a	2回目 BB有機入り いしかわライト550 13kg/10a
	幼穂長 15～20ミリ	穂肥1回目の1週間後	幼穂長 15～20ミリ	穂肥1回目の1週間後
平坦	7月11日～13日	7月18日～20日	7月11日～13日	7月18日～20日
山間	7月13日～15日	7月20日～22日	7月13日～15日	7月20日～22日

※裸地が見えず、葉色が濃い場合は1回目は施用せず、2回目の時期にBB有機入り いしかわライト550 13kg/10aを散布してください。

⇒収量や品質の低下につながるので、2回目の穂肥は省かないでください。

### 〈幼穂長と出穂前日数との関係〉

幼穂長 (ミリ)	出穂前日数	穂肥施用の指定日
1～2	－ 23日	6日後
3～4	－ 20日	3日後
15～20	－ 17日	基準日



## 「うま味1番味自慢コンクール」参加者募集！

おいしい米づくりの実践と一般消費者による食べ比べによる食味を総合的に加味したコンクールの実施により最高級の石川かほく米づくりによりブランド力を高める。

- ①生産者の書類審査 おいしい米づくりのための栽培工夫等 5点を選考
- ②消費者パネラーによる食べ比べによる審査
- ③最優秀賞、優良賞、努力賞の3点を表彰する。

詳細は次号にて掲載します

## 「かほく米トータルコスト低減運動」の実施中

目的：平成30年度まで行ってきた石川かほく米555共励会から引継ぐ運動であり、1俵あたりにかかる生産コストを引き下げ、所得向上を目指すものであります。  
目標総生産費を目指し、皆さんに実践のご提案をするものです。

(この時期に行う実施内容)

- 労働費削減** ・畦畔管理時間の削減 → 機械・農薬（除草剤+抑草剤）の併用管理  
・カメムシ防除タイミングの最適化 → 出穂前後の適期防除
- 生産性向上** ・最適な施肥手法 → 葉色・幼穂の確認（分施体系栽培）  
・水管理の徹底 → 出穂期の飽水管理

## コシヒカリ現地講習会日程表

(米米情報に日程表を掲載にて生産者案内とします。)

令和元年7月

月日	曜	時間	対象地区	集合場所
7月10日	水	午後 5時30分～	舟橋・加茂・川尻	西部育苗センター
7月10日	水	午後 5時30分～	浅谷・浅田	浅谷集会場前
7月10日	水	午後 5時30分～	笠谷地区	津幡東支店前
7月10日	水	午後 5時30分～	内日角	内日角公民館前
7月10日	水	午後 5時30分～	中沼・夏栗・瀬戸町	中沼ライスセンター前
7月11日	木	午後 5時30分～	能瀬・領家・谷内・御門・下矢田	能瀬第2会館駐車場
7月11日	木	午後 5時30分～	種谷地区	種谷防災センター前
7月11日	木	午後 5時30分～	萩坂・俱利伽羅・寺尾地区	萩坂倉庫前
7月11日	木	午後 5時30分～	狩鹿野・指江・森・向野	JA配送センター
7月11日	木	午後 5時30分～	内高松・長柄町・二ツ屋	高松運動公園第2駐車場
7月12日	金	午後 5時30分～	向栗崎・大根布	元内灘町消防署裏
7月12日	金	午後 5時30分～	潟端、大田、北中条・南中条	中条ライスセンター前
7月12日	金	午後 5時30分～	河合谷地区	元河合谷店跡地
7月12日	金	午後 5時30分～	金津地区	金津保育園前
7月12日	金	午後 5時30分～	箕打	箕内集会場前